

1991年(平成3年)6月14日 金曜日

舞鶴市民新聞

みずなぎ学園の 園生は金剛院で

鹿原の福祉施設「みずなぎ学園」(岡本四寿園長、九十九人)の園生らが十二日、近くの金剛院の清掃奉仕に汗を流した。

同学園では、園外での作業の機会を増やすとともに、地域への社会参加の一環として毎年近辺の清掃奉仕に取り組んでいる。今年も、日ごろ機能回復訓練や体力づくりに利用している金剛院の周辺をそれぞれの能力に合わせて美しくして恩返しを、と園生で奉仕活動を行った。

園生らは手タワやカマを手持ち場へ分かれて作業。川の中や周囲の土手などで長く伸びた草を刈ったり、空き缶を拾い集めたりして、約二時間汗をかいた。



奉仕作業に汗を流す園生たち

1991年(平成3年)6月18日 火曜日 第505号

舞鶴市民新聞

舞鶴みなとL.C.に認証状 身障者輸送車の寄贈も

市内で二番目のライオンズクラブ(L.C)、舞鶴みなとL.C(田中新一会長、四十二人)の認証伝達式が十五日、余部下の海上自衛隊舞鶴地方総監部講堂で、来賓や近隣L.C会員など五百三十五人が出席して行われ、新しいL.Cの誕生を祝った。

伝達式では、国歌とL.Cの歌を全員で斉唱したあと、全世界の物故L.C会員に黙とうを捧げた。このあと、L.C国際協会からの認証状が、舞鶴地区を統括する335L.C地区の小鍛冶隆一ガバナーから田中会長に手渡された。

小鍛冶ガバナーは「舞鶴みなとL.Cが認証を受けたことは、国際協会にとっても何も

のにも替え難い資産となり、歓迎します」とあいさつ。続いて、舞鶴みなとL.Cの結成に尽力したスポンサークラブの舞鶴L.C、嵯峨根弥一会長と同、酒井和夫EXT委員長に小鍛冶ガバナーから感謝状が贈られた。

このあと、舞鶴みなとL.Cの田中会長と会員全員が「われわれは奉仕する」との宣誓を行った。舞鶴みなとL.Cは、認証伝達の記念事業として、社会福祉法人・みずなぎ学園(隅山陣理事長)に身体障害者輸送車(七人乗り)一台を寄贈した。
舞鶴みなとL.Cは、今年三月十七日に結成され、この日、国際協会からの認証を受けた。